

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援 フータル枚方駅前		公表日	R8年 5月 8日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		利用定員に対するスペースは基準を満たしており、適切に確保されています。今後、利用児童の年齢や体格、活動内容に応じて空間の使い方や家具配置を調整し、安全かつ過ごしやすい環境づくりに努めていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		児童にとってわかりやすい環境となるよう、空間の使い方や配置を工夫していきます。また、特性に応じた情報伝達や環境面での配慮を行い、安心して過ごせる環境整備に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	日常的な清掃や環境整備により、清潔で心地よく過ごせる環境づくりに努めています。	活動内容や児童の特性に応じた空間の使い分けについては、今後さらに工夫・改善を行っていく必要があると考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	・個室の部屋はなく、パーテーションで区切るようになっている。	専用の個室はありませんが、必要に応じて空間を区切るなどの工夫により、個別に対応できる環境づくりを行っています。児童が安心して過ごせるよう柔軟に対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・スタッフで話し合い、計画し、試作したりしながら進められている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	5		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	職員の資質向上を図るため、新人研修や法定研修をはじめ、法人内での各種研修の機会を確保する体制を整えています。	職員が継続的に学べる環境を整備し、専門性および支援の質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	4		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	4		・今後行う予定。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3		各支援領域における目標設定および具体的支援内容の明確化については、精度が必要と考えています。アセスメントおよびモニタリングの結果をより反映し、計画の質の向上に努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・職員間で担当を分け、意見をすり合わせながら行っている。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・日ごとに活動のテーマを割り振り、様々な力をつけられる内容にしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	3	・毎日、集団療育と個別療育の時間を設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・前日までに活動案を提出し、スタッフ全員で活動のねらいや流れ、役割を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	4		・今後行う予定。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	4		・今後行う予定。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	4	障害児相談支援事業所が主催するサービス担当者会議や関係機関との会議には、児童の状況を把握している職員が参画できる体制を整えています。	会議を通じて関係機関との情報共有を図り、児童にとって適切な支援につなげていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・地域にある関係機関を訪問し、協力体制を整えている。	現時点では利用者がいないため、関係機関との具体的な連携は未実施です。今後は、保健・医療・福祉・保育・教育等の関係機関との連携体制を構築し、児童の状況に応じた支援が行えるよう取り組んでいく必要があると考えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	・各機関を訪問し、情報共有を図っている。	現時点では利用者がいないため、併行利用や移行支援および関係機関との具体的な連携は未実施です。今後は、保育所や学校等との情報共有や連携体制を構築し、インクルージョン推進の観点を踏まえた支援の実施に努めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・他事業所の利用者との交流を計画している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	4		・今後行う予定。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	4		・今後行う予定。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	4		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	3		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	・電話やSNS等での問い合わせに丁寧に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・Instagramで定期的に療育の内容を発信し、相談LINEを開設し、体制を整えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	3	・体験会、内覧会を開催した。地域のイベントにも積極的に参加していきたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対策に関する各種マニュアルを策定し、職員への周知を徹底するとともに、保護者への周知も行う体制を整えています。	発生を想定した訓練を計画的に実施し、安全管理体制の維持・向上および継続的な見直しに努めていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害の発生に備えた体制を整えています。避難経路の確認やグッズの準備を行い、災害時に備えています。	避難や救出等を想定した訓練を計画的に実施し、災害時に適切な対応ができるよう取り組んでいきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	3	・契約時に児童の状況を確認するためアセスメント用紙を作成している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		・今後行う予定。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		・今後行う予定。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		・今後行う予定。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2		身体拘束については、原則として行わないことを基本としています。やむを得ず実施が必要となる場合には、切迫性・非代替性・一時性の要件を満たす場合に限り、組織的に判断を行います。その際は、事前に保護者へ十分な説明を行い同意を得た上で、児童発達支援計画へ記載するとともに、実施状況の記録および定期的な見直しを行う体制を整えています。	